

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公表番号】特表2004-530703(P2004-530703A)

【公表日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2004-039

【出願番号】特願2002-591516(P2002-591516)

【国際特許分類】

C 07 H 17/00 (2006.01)

A 61 K 31/7052 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

A 61 P 33/00 (2006.01)

【F I】

C 07 H 17/00

A 61 K 31/7052

A 61 P 31/04

A 61 P 33/00

C 07 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月7日(2006.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

¹³C固体NMRスペクトルが、複数のピークを含み、少なくとも1つのピークが約179.5ppmの化学シフトを有することを特徴とする、アジスロマイシンセスキ水和物である、アジスロマイシンの結晶形。

【請求項2】

前記アジスロマイシンが50重量%超のアジスロマイシンセスキ水和物を含む、請求項1に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項3】

前記アジスロマイシンが60重量%超のアジスロマイシンセスキ水和物を含む、請求項2に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項4】

前記アジスロマイシンが70重量%超のアジスロマイシンセスキ水和物を含む、請求項2に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項5】

前記アジスロマイシンが80重量%超のアジスロマイシンセスキ水和物を含む、請求項2に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項6】

前記¹³C固体NMRスペクトルが、約10.4ppmの化学シフトのピークをさらに有する、請求項1に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項7】

前記¹³C固体NMRスペクトルが、約9.9ppmの化学シフトのピークをさらに有する、請求項6に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項 8】

前記¹³C 固体NMRスペクトルが、約9.3 ppmの化学シフトのピークをさらに有する
、請求項7に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項 9】

前記¹³C 固体NMRスペクトルが、約7.6 ppmの化学シフトのピークをさらに有する
、請求項8に記載のアジスロマイシンの結晶形。

【請求項 10】

前記¹³C 固体NMRスペクトルが、約6.5 ppmの化学シフトのピークをさらに有する
、請求項9に記載のアジスロマイシンの結晶形。